

**INTER-DESIGN FORUM TOKYO 2017 @SuperDeluxe vol.4**

隈研吾や山村浩二ら6名によるトーク&amp;プレゼンテーション (T&amp;P)

**『Carpe diem = 今を摘め』**

日時: 3月17日 (金) 19:00開演 (18:30開場) / 会場: スーパー・デラックス (東京・西麻布)

アート、デザイン、建築、科学、文学、食、音楽など多彩な分野で活躍する専門家が、ジャンルの垣根を超えて多角的な視点から「文化をデザイン」することを目的に活動している、一般社団法人日本文化デザインフォーラム (理事長: 水野誠一、以下 JIDF) は、「INTER-DESIGN FORUM TOKYO 2017」として、トーク&プレゼンテーション (T&P) 『carpe diem = 今を摘め』を、3月17日 (金) にスーパー・デラックス (東京・西麻布) で開催します。



T&amp;P『carpe diem = 今を摘め』登壇者

左から、芳賀直子、山村浩二、隈研吾、江原春義、蛭川有紀、KENTARO!!

【ご参考】前回の様子  
(2016.11.18 実施)

## ■ “今”という瞬間に1つの価値を見出す試み

T&P『carpe diem = 今を摘め』は、各分野の第一線で活躍されている方々を招き、15分という限られた時間の中で“それぞれの今”を語っていただくことで、“今”という瞬間に価値を見出そうとする試みです。「carpe diem」とは、古代ローマの詩人・ホラティウスの詩の中に登場する言葉で、「その日を摘め」と訳されますが、これを現代的に「今を生きる」と解釈。登壇者と来場者が“今”を共有できる、“この瞬間を目一杯楽しむ場”を目指します。



## ■ 隈研吾や山村浩二、蛭川有紀など6名による白熱のスピーチ

登壇するのは、建築家の隈研吾をはじめ、「頭山」「カフカ 田舎医家」で主要な国際アニメーション映画祭のグランプリを獲得しているアニメーション作家の山村浩二、画家で女優の蛭川有紀、舞踊研究家の芳賀直子、R水素ネットワーク代表理事の江原春義、ダンサー・振付家のKENTARO!!の6名。各界のスペシャリストによる短時間に凝縮された白熱のスピーチは必聴です。

## ■ 軽食&amp;ドリンク付き、入場料は前売り3,000円

INTER-DESIGN FORUM TOKYO 2017 @SuperDeluxe vol.4『carpe diem = 今を摘め』の入場料は、前売り3,000円 (当日は3,500円) で、どなたでもご参加いただけます。会場内では、軽食&ドリンクバー (アルコール類含む) も用意しています。また、トーク&プレゼンテーション終了後は、「ザッツ談パーティー」と称した登壇者等との語り合いの場も設けます。

JIDFでは、2013年より「INTER-DESIGN FORUM TOKYO」を毎年開催。「挑発するデザイン」(2014年)、「江戸と、江戸時代から読む未来」(2015年)など毎回異なるテーマで、JIDF会員をはじめ各分野で活躍する人々のメッセージを発信してまいりました。今年は昨年につき、『carpe diem = 今を摘め』をテーマとしたプレミアムなプレゼンテーションを展開します。

## 【本件に関する報道関係の皆様からのお問い合わせ先】

「インターデザインフォーラム東京」PR事務局 (株式会社ジェーワン) 担当: 鳥塚、久保  
TEL.03-3584-4981 / FAX.03-3584-5230 / メール idft@jone.jp

## 【紙・誌面、WEBサイトにご掲載いただく際の一般の皆様からのお問い合わせ先】

JIDF事務局 TEL.03-6441-0762 (平日 10:00~17:00)

# INTER-DESIGN FORUM TOKYO 2017 @SuperDeluxe vol.4

## トーク&プレゼンテーション『carpe diem=今を摘め』開催概要

- 日時：3月17日(金) 19:00開演(18:30開場)
- 会場：スーパー・デラックス(東京都港区西麻布3-1-25 B1F)
- 入場料：前売り3,000円/当日3,500円(軽食buffet&ドリンクバー込み)  
※前売りは、3月16日(木) 17:00まで、JIDFホームページ  
(<http://www.jidf.net/>)にて受付
- 主催：一般社団法人日本文化デザインフォーラム(JIDF)
- 協賛：株式会社博報堂/株式会社AOI Pro./株式会社丹青社/大日本印刷株式会社/  
株式会社テー・オー・ダブリュー/株式会社ティー・ワイ・オー/株式会社東北新社/  
凸版印刷株式会社/株式会社乃村工藝社/株式会社ムラヤマ
- プログラム/登壇者情報および演目内容(予定)：



### 「パレード」100周年 ～サティ、ピカソマシンのバレエの衝撃～

2017年は「パレード」初演から100周年。今なお魅力的で刺激的なバレエを生んだセルジュ・ディアギレフ率いるバレエ・リュスの魅力と共にご紹介します。現在も色あせない魅力について、「コンテンポラリー・ダンス」として生まれたバレエという存在についてお話しします。

**舞踊研究家**  
専門はバレエ・リュス、バレエ・スエドワ。幼い頃からバレエに関心を持ち、大学でバレエ・リュスの本格的な研究を開始。「バレエ・リュス～その魅力のすべて～」(国書刊行会)、「バレエ・ヒストリー～バレエの誕生からバレエ・リュスまで」(世界文化社)等の著書。新国立劇場バレエ研修所講師、大正大学客員准教授等。[naokohaga.com](http://naokohaga.com)



### サティの「パレード」

1917年に初演されたフランスの作曲家エリック・サティのバレエ「パレード」を、サティのエッセイからのテキストと共に、超現実的バレエ映像としてアニメーションでの再現を試みた。その14分のアニメーション作品上映と解説。

**アニメーション作家**  
1964年生まれ。「頭山」(02)がアヌシーをはじめ主要なアニメーション映画祭で6つのグランプリを受賞、第75回アカデミー賞®にノミネート。また「カフカ 田舎医者」(07)がオタワなど7つのグランプリを受賞。絵本画家、イラストレーターとしても活躍。映画芸術科学アカデミー会員、東京藝術大学教授。



### R水素～再生可能エネルギーと水による 地域循環型のエネルギーのかたち

水素水がブームになっています。水素ガスを水に溶かすと「水素水」になります。水素ガスを燃料電池(水素発電機)に入れると空気中の酸素と反応して、水に戻りながら電気を発生するのです。実はここを深く掘っていくと「新しい文明がみえてきます。」

1986年自然派化粧品ブランド「江原道(KohGerDo)」を、妻であった女優、早乙女愛と共に創業。多くの俳優に愛用される。2002年「人生には未だ、自分の知りえない深遠で壮大な何かがあるのでは?」という想いから江原道を売却し代表取締役を退任後、家族とともに渡米。そこで地球環境の危機的な状況に衝撃を受ける。2009年NPO「R水素ネットワーク」を設立。公式サイト <http://rh2.org>

蜷川有紀

YUKI NINAGAWA

20:10~



## ダンテと薔薇

ダンテの神曲・地獄編をテーマに描いた超大作3m×6mの「薔薇のインフェルノ」の制作秘話。遠い記憶、太古の脳を使った絵画について語ります。

画家/女優

1978年、つかこうへい版「サロメ」の主演で女優としてデビュー。1981年、映画「狂った果実」でヨコハマ映画祭新人賞受賞。以降、出演作多数。2004年、短編映画「パラメラバ」を監督・脚本・主演。2008年、絵画展「薔薇めくとき」を開催。同年度情報文化学会・芸術大賞受賞。本年5月29日~6月18日に、パークホテル東京にて超大作「薔薇のインフェルノ」を発表する。

隈研吾

Kengo KUMA

20:30~



## 身体でつかむ

建築は、「今」を固定するものです。建築家は、「今」はどんな時代かをいつも考え、体で感じていなければなりません。体で感じたものを、素材に翻訳する能力が特に重要です。

建築家/東京大学教授

近作に、サントリー美術館、根津美術館、浅草文化観光センター、長岡市役所アオーレ、歌舞伎座、豊島区庁舎、プザンソン芸術文化センター、FRACマルセイユがあり、現在、16カ国で多数のプロジェクトが進行中。著書は「小さな建築」(岩波新書)「建築家、走る」(新潮社)、「僕の場所」(大和書房)「広場」(淡交社)他、多数。

KENTAROU!!

ケンタロー

20:50~



## 「パレードにて」

サティの楽曲に身を寄せながら新しい何かを引き振り出すことが出来たら幸いです。

ダンサー/振付家

1980年生まれ、ダンスカンパニー <東京 ELECTROCK STAIRS> 主宰。HIPHOPを中心としたストリートダンステクニクをベースとしながらも既存のスタイル化されたものに捉われない独自の表現を探求。17歳よりプロとして活動している。近年の作風としては自作音源と曖昧にシンクロしながら、比喩と現実の狭間でシンプルかつ夢想的に作っている。外での公演も精力的に行い、国内外問わず活動中。

## 日本文化デザインフォーラムについて

日本文化デザインフォーラム (Japan Inter-Design Forum /JIDF)は、アート、デザイン、建築、科学、哲学、文学、評論、伝統芸能、都市計画、写真、食、音楽、映像など、多彩な分野の先端的な活動をしている専門家約 100 名が自発的に集まった任意の団体です。それぞれの専門ジャンルの垣根を超えて会員相互で交流・啓発しあうことで、これまでにない発想を生み出し、多角的な視点から日本及び世界の「文化をデザイン」することを目的に活動しています。

1980年の設立(旧組織名称:日本文化デザイン会議/~1989年)以来、国内の主要都市で30回を超えるフォーラムを開催してきました。2011年8月からは「一般社団法人日本文化デザインフォーラム」として新たにスタート。本フォーラムの発起人である建築家・黒川紀章の七回忌にあたる2013年より、「INTER-DESIGN FORUM TOKYO」を毎年開催し、デザイン、建築、アートなど、さまざまな分野を牽引するプロフェッショナル達のメッセージを発信し続けています。